

今月の特集は「水」でした。水は私たちが生きていく上で不可欠なものです。私たち自身の体もその質量の多くを水が占めていますし、飲み物、食べ物、お風呂、トイレ、雨、雪などなど、私たちの周りは水だらけで、水はとても身近なものです。

鉄道にとっても水は身近なもので、雨や雪が鉄道の運行に影響を与えることもありますし、それ以外にもさまざまな場面で鉄道システムの中に水が登場することがあります。そのため、鉄道総研でもさまざまな分野で水を相手にした研究開発が行われており、今回の特集となりました。

ところで「水」と言えば、子供の頃、水は無色透明なのに薄

い青のことをなぜ水色と呼ぶのだろうと疑問に思っていました。しかし、その後、海の青色が水分子に由来する“水本来の色”を起源としていることを知り、今では、水は非常に薄い色だけれども実際に青い色をしており、水色は本当に水の色なのだと納得しています。

さて、次号の特集は「駅」です。鉄道関係者でない一般の方にとっては、駅が鉄道の中で最も身近な存在の一つなのではないでしょうか。この駅についても、さまざまな研究開発が行われており、次号ではその一端をご紹介させて頂く予定です。ご期待ください。(M.K.)

■5月号の訂正とお詫び

RRR誌2014年5月号のなかに誤植がございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

記事タイトル	箇所	誤	正
特集記事『軽量金属の新素材を求めて』	p.25, 図5	液体化处理	溶体化処理
鉄道総研ニュース『部外発表(雑誌等)』	p.42, 表中2行目, 所属と執筆者	構造力学 曾我部正道 他	トンネル 津野究 他